

ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る事業計画（令和7年度）に関する意見等

意見No.	ページ	施策No.	事業名等	担当部局等	担当各課（室）	提案委員	意見等内容	担当課回答
①	3 8 10	10 29 42	ともに、つながる。ふくしま スポーツ交流事業	文化スポーツ局	スポーツ課	市岡委員	スポーツ教室や講演会などの予定が決まっている場合は、他事業と同様により具体的な記載が望ましいと思われます。	本事業のスポーツ教室や講演会は、希望する学校や企業等に出向いて随時実施しているため、具体的な予定の記載は困難です。
②	4	15	障がい者の社会参加促進事業	保健福祉部	障がい福祉課	佐藤委員	ヘルプマークに関する啓発 毎年、計画に記載してあるが、なかなか進んでいない。 事業を進めるための具体的な取り組みは・・・	啓発用資材として、ポケットティッシュとポスターを作成しており、県内で開催するイベントにおいて、来場者の皆さんにポケットティッシュを配布しております。(R6:700個、R7:100個) 今後も、企業との包括連携に基づく県政情報コーナーでのポスター掲示など、機会を捉えて啓発を進めてまいります。
③	8	32	地域人権啓発活動活性化事業(人権の花運動、人権啓発活動市町村委託事業)	生活環境部	共生社会・女性活躍推進課	市岡委員	各市町村に委託とありますが、全市町村でしょうか。事業対象の市町村について教えてください。	全市町村を対象としていますが、事業実施希望の市町村のみ、県から委託をしています。今年度においては、46市町村で実施予定です。
④	10	41	地域学校協働本部事業(地域学校協働活動補助事業)	教育庁	社会教育課	市岡委員	地域学校協働本部事業で進められる拠点づくりですが、新たな拠点づくりの推進なのか、令和6年度までに作られた拠点の維持なのかを確認させてください。	現在、地域学校協働本部事業を実施している43市町村の伴走支援を行うとともに、未実施の自治体についてもコミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的な推進を押し進めることで新たな拠点づくりを進めます。
⑤	12	45	国際交流員設置事業	生活環境部	国際課	市岡委員	予定が決定している場合は、他事業と同様に講座開催回数など具体的な記載が望ましいと思われます。	国際理解出前講座は自治体や学校などからの申請に応じて実施しているものであり、予定が決定しているものではありません。
⑥	16	63	地域子ども・子育て支援事業(地域子育て支援拠点事業)	こども未来局	子育て支援課	市岡委員	地域子ども・子育て支援事業においては、市町村への補助とありますが、予定している市町村数はいかほどでしょうか。	今後、市町村の交付申請手続を実施するため、現時点での補助市町村数は未定ですが、今年度より補助対象事業が一部追加となったことから、昨年度実績と同程度(R6実績:55市町村へ補助)か、微増を見込んでおります。

ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る事業計画（令和7年度）に関する意見等

意見No.	ページ	施策No.	事業名等	担当部局等	担当各課（室）	提案委員	意見等内容	担当課回答
⑦	18	71	障害者ピアサポート研修事業	保健福祉部	障がい福祉課	佐藤委員	障害者ピアサポート研修 大変に意義があると事業と考えるので令和6年度に引き続き、実施してほしい。 具体的な実施時期、受講生の募集方法、研修会の内容等を聞きたい。	【実施時期(R7)】 基礎研修…11/4～11/5 実践研修…1/15～1/16 フォローアップ研修…6/12～6/13 【募集方法】 障がい当事者の方、障害福祉サービス事業所の管理者等、ピアサポーターと一緒に支援を行う方を対象に募集。研修に係る情報は各障がい福祉施設・事業所運営法人へ通知するほか、県ホームページにも掲載して周知。 【研修会の内容】 ピアサポートの実例、ピアサポーターとしての効果的なコミュニケーション技法、ピアサポートを活用する技術等に関する講義・演習
⑧	23	88	①障がい者スポーツ振興事業 ②全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業 ③ともに、つながる。ふくしまスポーツ交流事業 ④東京2025デフリンピック関連復興推進事業	文化スポーツ局	スポーツ課	佐藤委員	全国障害者スポーツ大会選手派遣 開催地は鹿児島県ではなく、滋賀県の訂正	ご指摘のとおり、資料修正いたします。
⑨	27	103	交通安全施設等整備補助事業	警察本部	交通規制課	佐藤委員	誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを進める… 音の出る信号機の設置に取り組んでほしい。 全国的に「歩車分離式信号機」は、視覚障がい者にとって危険な信号機。「歩車分離式信号機」と分かっている安全だが、分からないと大変に危険。全国的にも事故が発生している。できれば危険度を身をもって体験してほしい。	歩車分離式信号機への音の出る信号機の設置については、福島県視覚障がい者福祉協会様から同様の要望を受けており、警察庁からも同様に指示がされているところです。歩車分離式信号機が視覚障がい者の方々にとって危険であることは承知しておりますので、音の出る信号機について計画的に整備を進めます。
⑩	31	122	インターネット広報広聴事業	総務部	広報課	佐藤委員	音声読み上げソフトはどのようなソフトでしょうか？	音声読み上げソフトは、文字データを音声に変換する機能です。例えば視覚に障がいのある方などがこのソフトを使って、ホームページに書かれた文章を音声で聞いて内容を理解することができます。
⑪	31	128		危機管理部	災害対策課	佐藤委員	災害時の情報提供 「福島防災アプリ」は視覚障がい者にとって使いにくい。理由は、PDF情報が多くあり、音声化ができないため。さらなる工夫を早急をお願いしたい。	スマホの習熟度や視覚に障がいのある方々のため、機能を絞ったわかりやすい画面デザインの設計や音声読み上げへの対応を検討しております。

ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る事業計画（令和7年度）に関する意見等

意見No.	ページ	施策No.	事業名等	担当部局等	担当各課（室）	提案委員	意見等内容	担当課回答
⑫	32	133	多文化共生に係るアンケート調査事業委託業務	生活環境部	国際課	市岡委員	アンケート実施方法について概要を伺いたく存じます。	県内における外国人住民を取り巻く状況や課題等を把握し、多文化共生社会の実現に向けた取組を推進するため以下の通りアンケートを実施します。 ・調査時期：令和7年10月頃 ・調査対象： 20歳以上の県内外国人住民 約3,500人 20歳以上の県内日本人住民 約2,500人 ・抽出方法：県内市町村による無作為抽出 ・調査項目数：それぞれ約30問を想定 ・調査方法：Webフォーマットにより回答